

3・13全国重税反対統一行動での税務署交渉

収入欄書けと申告書をつき返す暴挙

11時からの申告書提出。その際義務のない収入欄が「書かれていない」と申告書をつき返す署員がおり、三役先頭に武田総務課長に厳しく抗議、態度を改めさせ、二度とやらないようにと強く要請。最後まで謝罪すらない署に対して「だまっていたらごまかしばかりや」と怒りの声。

**親切ごかしの不安をさそう、おたずねなどやめよ！
～「誤解をされないよう改善」を約束**

11時過ぎからの宮田会長など代表5人による税務署交渉では、国民の暮らし・経営守る税制、納税者の権利を守った税務行政を要望。

問題にしたのは昨年小松署が出した「消費税の課税業者と思わせ不安にさせるような詐欺まがいの文書」(『まいどさん』10/8、10/15掲載)への小松署の姿勢。

民商が抗議申し入れし「回答するかどうかを含めて検討する」といいつつその検討結果はなしのつぶての態度でした。

今年新任の武田総務課長は「回答しなければならないと思っていた」ととぼけるとともに、「郵送先の基準については」にもだんまりで「課税売上になっていることを知らない人もいるので親切だ」と低次元のすり替え。代表らの粘り強い追及に「今年も出すが、誤解を与えないようなものに改善はする」と言明しました。